



ニュースレター

やはた

The Salvation Army YAHATA Corps



八幡小隊に関わりのある皆様

「見よ、初めのことは成就した。新しいことをわたしは告げよう。それが芽生えてくる前に わたしはあなたたちにそれを聞かせよう。」 イザヤ書 42:9

年の初めの1月から3月のことを、子どものころ、1月は行き、2月は逃げ、3月は去る、と教わりました。この時期に思うことは、過ぎ行く時の速さに、思いがついていかない、今年もまたそうなりそうでしたが、違います。

Salvation Army Yahata (以下SA八幡) では、新しいことが始まります。最初にあげた御言葉は、この言葉を目にすると若い時も、今も、希望と期待を私に持たせてくれるのです。

北九州に来てこの3月で7年です。北九州は若戸大橋ができて2年後、中学の修学旅行で来たことがありました。今でも、春の町の高速道路から高架橋を見ると、当時の繁栄と戦後日本の経済発展に最も貢献した八幡製鉄をはじめとする地元で働かれた人々の熱い思いを感じます。

SA八幡がこの地に誕生したころも、地方から職を求めてやって来た人々が初期のメンバーでした。特に、長見貞子さんは、八幡製鉄の職員でしたが、笑顔で公報『ときのこえ』を販売し、それを手にした吉村勘蔵さんが、どうしてこの人はニコニコしているのだろう、と思ったことがイエス・キリストに近づくことになり、やがて息子の巽さんと共に、SAでキリストへの信仰を持たれたのです。

勘蔵さんについて、おもしろいエピソードを最近聞きました。保険の外交やセールスの人が来ると、その人を相手に、イエス様の話しを延々とされていた、ということです。同じような人が教会にはいるものです。迷惑がられるどころか、そのことを後に感謝した人も多くあったのです。そういう人たちが、勘蔵さんの後継者となり、今のSA八幡を築いてきたと言ってよいでしょう。

今年、110周年を迎えるSA八幡では、まもなくホームページを開設いたします。ここには、110年の歴史を物語る、これまでに出版された『記念誌』を掲載します。また、一人ひとりの信仰に生きた証しも紹介していきます。テレビ番組で「ファミリーヒストリー」という番組があります。これと同じような内容で、SA八幡に関わりのあった方々、またそのご家族などをホームページで紹介し、何がきっかけでイエス様に出会い、イエス様がその方に、またご家族にどのような恵みをお与えになってきたのかを、ぜひ皆さんに知っていただきたいのです。もちろん、そういう内容のコーナーは、公開ではなく、ちゃんと鍵をかけて、関係者だけが見られるコーナーとします。それ以外の方々のためのコーナーも設けます。狙いはただ一つ、「求めなさい。そうすれば与えられます」と言われた、イエス様だけがとお与えになる、この地上にはない、天の宝を発見していただくことです。乞うご期待！

3月には、今年も「克己週間」募金をいたします。これは、海外の働きをサポートするための募金です。今年はバングラデシュの視覚障がい児教育の働きをサポートすることに焦点が当てられています。みなさまのご協力をお願いいたします。

■ユーチューブ配信のご案内 小隊での聖別会のメッセージや動画は、**YouTube**の検索、**救世軍八幡**、または **Salvation Army Yahata** で いつでも視聴できます。

発行 2025年3月



福岡県北九州市八幡東区
昭和2-4-5

TEL (093) 652-1584

FAX (093) 482-5077

E-mail: yahata@jap.

salvationarmy.org

小隊士官 樋口和光

小隊士官 樋口愛子

樋口少佐 携帯電話番号

070-1390-5365

2025年救世軍標語
「信仰の遺産の上に築く」
(テモテへの手紙二1章14節)



■八幡小隊 聖別会(礼拝)のご案内

3月9日(日) 10:30a.m.

克己週間個人献納式(聖別会席上)

毎週の聖別会は同時刻から始め、1時間ほどの礼拝です。ぜひ、お出かけください。